

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 7 月 18 日(2024.7.18)

【公開番号】特開 2024-12786(P2024-12786A)
【公開日】令和 6 年 1 月 31 日(2024.1.31)
【年通号数】公開公報(特許)2024-019
【出願番号】特願 2022-114514(P2022-114514)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

A 6 3 F 5/04(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 5/04 6 1 1 Z

A 6 3 F 5/04 6 5 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 A

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 7 月 9 日(2024.7.9)

20

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

作業領域を有する記憶手段と、

電源の供給がされると前記記憶手段が有する作業領域の設定を行う電断復帰設定手段と、

特定の操作により前記記憶手段が有する所定の作業領域を初期化するための特定操作初期化手段と、

30

遊技を制御可能な遊技制御手段と、

遊技の結果に応じて獲得した遊技価値を遊技者に付与する遊技価値付与手段と、

遊技者に付与した遊技価値の増加数と遊技に用いた遊技価値の消費数とに基づいて遊技価値の差数を算出する差数算出手段と、

前記差数算出手段によって算出された遊技価値の差数が規制値となったことを条件として、前記遊技制御手段により制御される遊技を停止させることが可能な遊技停止手段と、

所定の示唆を制御可能な示唆制御手段と、

前記遊技価値付与手段により付与される遊技価値に関する異常を検知する付与異常検知手段と、

40

を備え、

前記遊技制御手段は、遊技の結果が特別結果を満たすときには、遊技者に遊技価値を付与することが可能な特別遊技状態を制御する特別遊技状態制御手段を有し、

前記記憶手段は、前記遊技制御手段によって制御される遊技の進行情報と、前記遊技停止手段によって遊技が停止されている遊技停止状態の情報と、前記差数算出手段によって算出された遊技価値の差数とを少なくとも記憶し、

前記遊技停止手段は、前記特別遊技状態制御手段によって特別遊技状態が制御されているときに、前記差数算出手段によって算出された遊技価値の差数が前記規制値となった場合には、遊技を停止させず、特別遊技状態の制御が終了した後に遊技を停止させることが可能であり、

50

前記示唆制御手段は、前記特別遊技状態制御手段によって特別遊技状態が制御されているときに、前記差数算出手段によって算出された遊技価値の差数が前記規制値となった場合には、当該特別遊技状態の終了後に遊技が停止されることを事前に示唆可能な特定の遊技停止予告と、

前記差数算出手段によって算出された遊技価値の差数が前記規制値ではないときに実行可能な所定の遊技停止予告と、

前記遊技停止手段によって遊技が停止されたときに、遊技の停止を示唆可能な遊技停止示唆と、を制御可能であり、

前記特別遊技状態制御手段によって特別遊技状態が制御されているときには、前記示唆制御手段は、時系列的に連続する複数の表示演出からなる特別演出を制御可能であり、

前記特定操作初期化手段により所定の作業領域が初期化されずに、前記電断復帰設定手段により電断復帰した場合において、電断復帰するよりも前に特別遊技状態において前記示唆制御手段が前記特定の遊技停止予告を制御していたときには、前記特定の遊技停止予告の制御を再開するとともに、電断復帰前に表示されていた表示演出を電断復帰後において継続して表示せず、

前記示唆制御手段は、

前記遊技停止示唆を制御しているときに、前記付与異常検知手段によって異常が検知された場合、遊技価値の付与に関する異常が発生していることを示唆することが可能であり、

前記所定の遊技停止予告を実行しているときに電断が発生し、該電断後に前記特定の操作が行われることなく前記電断復帰設定手段により電断復帰すると前記所定の遊技停止予告を実行せず、

前記遊技停止示唆を実行しているときに電断が発生し、該電断後に前記特定の操作が行われることなく前記電断復帰設定手段により電断復帰すると前記遊技停止示唆を実行し、

前記遊技停止示唆は、少なくとも前記特定の遊技停止予告および前記所定の遊技停止予告よりも表示画面上にて大きく表示され得る示唆である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するために、本発明に係る遊技機（例えば、第5のパチンコ遊技機）は、作業領域を有する記憶手段と、電源の供給がされると前記記憶手段が有する作業領域の設定を行う電断復帰設定手段と、特定の操作により前記記憶手段が有する所定の作業領域を初期化するための特定操作初期化手段と、遊技を制御可能な遊技制御手段と、遊技の結果に応じて獲得した遊技価値を遊技者に付与する遊技価値付与手段と、遊技者に付与した遊技価値の増加数と遊技に用いた遊技価値の消費数とに基づいて遊技価値の差数を算出する差数算出手段と、前記差数算出手段によって算出された遊技価値の差数が規制値となったことを条件として、前記遊技制御手段により制御される遊技を停止させることが可能な遊技停止手段と、所定の示唆を制御可能な示唆制御手段と、

前記遊技価値付与手段により付与される遊技価値に関する異常を検知する付与異常検知手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、遊技の結果が特別結果を満たすときには、遊技者に遊技価値を付与することが可能な特別遊技状態を制御する特別遊技状態制御手段を有し、

前記記憶手段は、前記遊技制御手段によって制御される遊技の進行情報と、前記遊技停止手段によって遊技が停止されている遊技停止状態の情報と、前記差数算出手段によって算出された遊技価値の差数とを少なくとも記憶し、

前記遊技停止手段は、前記特別遊技状態制御手段によって特別遊技状態が制御されてい

10

20

30

40

50

るときに、前記差数算出手段によって算出された遊技価値の差数が前記規制値となった場合には、遊技を停止させず、特別遊技状態の制御が終了した後に遊技を停止させることが可能であり、

前記示唆制御手段は、前記特別遊技状態制御手段によって特別遊技状態が制御されているときに、前記差数算出手段によって算出された遊技価値の差数が前記規制値となった場合には、当該特別遊技状態の終了後に遊技が停止されることを事前に示唆可能な特定の遊技停止予告と、

前記差数算出手段によって算出された遊技価値の差数が前記規制値ではないときに実行可能な所定の遊技停止予告と、

前記遊技停止手段によって遊技が停止されたときに、遊技の停止を示唆可能な遊技停止示唆と、を制御可能であり、

前記特別遊技状態制御手段によって特別遊技状態が制御されているときには、前記示唆制御手段は、時系列的に連続する複数の表示演出からなる特別演出を制御可能であり、

前記特定操作初期化手段により所定の作業領域が初期化されずに、前記電断復帰設定手段により電断復帰した場合において、電断復帰するよりも前に特別遊技状態において前記示唆制御手段が前記特定の遊技停止予告を制御していたときには、前記特定の遊技停止予告の制御を再開するとともに、電断復帰前に表示されていた表示演出を電断復帰後において継続して表示せず、

前記示唆制御手段は、

前記遊技停止示唆を制御しているときに、前記付与異常検知手段によって異常が検知された場合、遊技価値の付与に関する異常が発生していることを示唆することが可能であり

前記所定の遊技停止予告を実行しているときに電断が発生し、該電断後に前記特定の操作が行われることなく前記電断復帰設定手段により電断復帰すると前記所定の遊技停止予告を実行せず、

前記遊技停止示唆を実行しているときに電断が発生し、該電断後に前記特定の操作が行われることなく前記電断復帰設定手段により電断復帰すると前記遊技停止示唆を実行し、

前記遊技停止示唆は、少なくとも前記特定の遊技停止予告および前記所定の遊技停止予告よりも表示画面上にて大きく表示され得る示唆であることを特徴とする。

10

20

30

40

50